

茨南だより

3 S 察知
誠意
スピード感

NO. 4 2022. 7. 26

皆さんが一丸となって

県南教育事務所長
小松崎 龍太郎

今年度の所課長訪問は、7月15日をもって、前半が終了しました。5月から8市町村、108校を訪問させていただきました。慌ただしい日程にもかかわらず、大変温かく迎えていただき、また、資料をはじめ諸準備等にも感謝申し上げます。

どの学校も、校舎内外の環境が整えられ、子どもたちが安心して学べることはもちろんのこと、保護者も安心して子どもを通わせることができる、先生方も安心して働くことができる学校であり、安全・安心に対する先生方の意識の高さが伝わってきました。本当に短時間の訪問ではありますが、懇談の中で説明していただいたことが、校内や教室の環境、先生方の授業の実践にしっかりと感じられました。そして、子どもたちが学習に取り組む姿にも表れている様子から、組織の一体感と学校としての勢いを感じました。

懇談の中では、教頭先生や教務主任の先生から、

- グランドデザイン作成時から全教職員が関わり、学校が目指していることを全員が理解している
 - お互いに日常的に声をかけ、何でも話せる雰囲気がある
 - 校務や教育活動について、目標達成のための効果的な手段になっているかという視点での見直しが教職員間で常に行われている
 - 報・連・相のシステムが機能し、全ての情報が、その日のうちに校長まで届くようになっている
 - 業務の平準化がなされていて、業務の過度の集中がない
 - 全てが複数体制で行われ、教職員間の日常的な助け合いが当たり前に行われている
 - 教職員一人一人が各自の力を発揮する場があり、良さを発揮し、関わりながら業務を遂行している
- このような運営状況が確認できました。



教職員の皆さん一人一人の御尽力と、学校として一丸となった取組に改めて感謝申し上げます。

総務課

給与事務実状調査が始まります



7月中旬から、管内27校を対象に給与事務についての指導及び助言を行う、「給与実状調査」を実施いたします。現時点におきましても、扶養手当における被扶養者の給与明細の提出遅れ及び年金等収入がある旨の申告漏れ、通勤手当において最短距離があるにも関わらず申告せずに行ったことなどによって、年度をまたいで手当等を返納する処理が多数発生しております。事情変更が生じた際や資料の提出を求められた際は、速やかに事務職員へお願いいたします。

人事課

★★信頼され 笑顔あふれる学校づくりのために★★



令和4年7月12日付けで「働き方改革の推進に係る具体的な取組事例」について、市町村教育委員会を通して各学校長へ送付いたしました。これは、6月15・16日の管理職研修会(第1回)において、校長・副校長・教頭先生方が、熱心に意見交換・協議されたものから、各学校で効果のあった取組を集めたものです。記載されている県南教育事務所管内38の事例を参照していただき、各学校で未実施のものを新たに取り入れるなど、さらに働きやすい職場となるよう全教職員で協力していただければ幸いです。夏季休業期間が、先生方自らが生活の質を豊かにして人間性や創造性を高め、効果的な教育活動を行うことができる有意義な時間となるよう、さらにタイムマネジメントを意識したメリハリのある勤務をお願いします。

県南事務所管内の教職員の交通事故が多く発生しています。集中力・注意力の低下の漫然運転、運転中のカーナビ操作や物を取ろうとしたことによる脇見運転、交差点進入時の歩行者の見落とし等の安全不確認などが原因です。時間にも気持ちにも十分にゆとりをもった安全運転をお願いします。



重点校には、各種調査結果から明らかとなった課題の改善に向けて取り組んだ研修の成果について、授業公開を通して発表していただきました。 <国語:守谷市立守谷中学校 算数:龍ヶ崎市立八原小学校>

当日は、一部エリアを限定したものの、参集型の研修を行うことができ、授業参観後には参加者による熱のこもった研究協議と、文部科学省学術調査官、県教育委員会義務教育課指導主事からの指導講評が行われ、たいへん充実した発表会となりました。



第2回に向けてさらにブラッシュアップをしていきます！

新規採用教員研修指導教員等研修会

7月7日に指導教員の資質の向上と新規採用教員研修の充実を図るための、研修会が開催されました。協議①では持ち寄った資料を基に効果的な校内研修の実践について話し合い、協議②では共通の課題となりうる事項をKJ法で整理し、全体で共有しました。新規採用の先生は指導教員の先生方より「学級づくり・教科指導(部活指導)・保護者の対応・事務処理等」の大切なことを学び、子どもたちの指導に生かしてほしいと思います。



つくば市教育委員会

【ルールメイキングプロジェクト】

令和2年3月に策定されたつくば市教育大綱では、「教えから学びへ」「管理から自己決定へ」「認知能力偏重から非認知能力の再認識へ」を3つの柱に据えています。今年度、この3本柱のうちの1つ「管理から自己決定へ」を一層推進するために、市校長会と連携して「ルールメイキングプロジェクト」に取り組んでいます。ルールメイキングプロジェクトとは、学校の決まり事や約束事などの課題点について、児童生徒自ら考え、判断し行動することで、よりよいものに改善する試みです。5月31日に市内各校の校長先生と担当者が、NPO法人カタリバの方を講師とした研修を受け、グループワークではルールづくりを通して育てたい子どもの姿について考えました。

現在、各学校において、児童会本部や生徒会本部、または学年単位、学級単位でそれぞれの学校等の課題を題材として「ルールメイキング」を行っています。9月には市内各学校とカタリバをオンラインでつなぎ、児童生徒がアドバイスを受けながらルールメイキングのスキルをブラッシュアップする研修を行う予定です。このような取組を通して、自分たちの様々な課題に対して自ら考え、行動できる児童生徒の育成を目指していきます。



【国際こども絵画プロジェクト】

つくば市校長会が中心となり、「国際こども絵画プロジェクト」に参加しました。フィリピンの子どものために、各家庭に眠っている絵具セットを贈るプロジェクトです。市内全校で声かけを行い、およそ200セットの絵具セットを贈ることができました。今後もSDGsの視点を持った活動を、児童生徒、家庭、学校が協働しながら取り組んでいきます。



石岡市教育委員会

平和教育 ～語り継がれる平和への想い～

戦後76年が経過した今、石岡市では、戦争の記憶を風化させまいと市内の中学2年生対象に次の2つの行事を実施いたします。

石岡市中学生平和大使派遣

石岡市では、市内全中学2年生の代表生徒を平和大使として、広島市や長崎市へ派遣しています。平成27年度から実施している本事業は、コロナ禍による2回の中止を経て、今年度第6回目を迎えます。本年度は、8月5日、6日の二日間、10名の平和大使を広島市へ派遣し、広島市平和記念式典に参列したり、広島原爆死没者追悼平和記念館を見学したりする予定です。それらの体験を通して、平和都市宣言の意義、戦争の悲惨さ、命の尊さを学び、学んだことを平和メッセージや平和宣言文にまとめ、語り部として学校や地域に伝達していきます。



令和元年度の結団式の様子

被爆体験伝承者講話 ～広島原爆被害・平和への想いについて～

昨年度は、コロナ禍により実施を見送った平和大使派遣事業の代替行事として、被爆体験伝承者による講話を実施いたしました。伝承者の講話を、会場中学校からオンライン配信することで、市内中学校5校の2年生が全員参加しました。

写真資料等を映しながら、当時体験された様子を具体的にお話しいただいたり、平和に対する思いや願いを熱心に語っていただいたりしたことで、中学生は戦争や平和について深く考えることができました。講話後は、生徒が感じたことを発表し合い、皆で平和の大切さを共有しました。

今年度は、平和大使派遣事業と併せて被爆体験伝承者講話を実施いたします。



会場校と市内中学校をオンラインで接続し558名が参加